

「高齢者肺炎球菌予防接種について」

文= 清水 雅代 (保健師)

肺炎球菌感染症とは？

肺炎球菌という細菌によって引き起こされる病気です。この菌は主に気道の分泌物に含まれ、唾液などを通じて飛沫感染します。日本人の約3～5%の高齢者では鼻やのどの奥に菌が常在しているとされます。これらの菌が免疫力や抵抗力の低下等により、体内に侵入すると気管支炎や肺炎、敗血症などを引き起こす場合があります。

肺炎球菌予防接種について

肺炎を起こす原因として最も多いのが病原微生物の感染で、その中でも最も多いのが肺炎球菌です。肺炎球菌には93種類の型があり、予防接種はそのうち肺炎を起こしやすい23種類の型に効果があります。羽幌町では次のとおり予防接種を実施していますので、希望される方はお申込みください。

定期予防接種

- ① 65歳の町民の方
(過去に肺炎球菌予防接種を受けた方を除く)
- ② 60歳以上65歳未満で、心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障がいをもつ町民の方
(身体障害者手帳1種1級程度)

任意予防接種

65歳以上で過去5年間に肺炎球菌予防接種を受けていない町民の方。

定期予防接種と任意予防接種の違いは？

高齢者肺炎球菌はB類疾病定期接種に該当します。個人での発症を抑える目的があり、本人の希望で接種することになります。定期と任意の大きな違いは、予防接種による副反応によって健康障害が生じた場合の補償額です。任意接種での健康障害への補償は、定期接種時の約2分の1程度となります。



接種可能病院

道立羽幌病院、天売診療所、焼尻診療所

申込方法

予防接種を希望する病院に直接、お申込みください。

接種内容

成人用肺炎球菌ワクチン
(23価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチン)
皮下または筋肉内注射 1回

費用

自己負担額 3,000円
(定期予防接種・任意予防接種どちらも)

※ 今までに町の助成を受けたことがある方は全額自己負担となるため費用が異なりますので病院に直接確認してください

※ 町外の医療機関で接種する場合は全額自己負担となります

ワクチン接種後の副反応

接種後に注射部位の腫脹、疼痛、筋肉痛、発熱がみられることがあります。通常は数日で消失します。また、過去5年以内に接種したことがある人では、再接種により注射部位の疼痛や硬結等の副反応が通常より強くでることがあります。再接種を行う場合は、前回接種から5年以上の間隔を確保して接種を行うことが必要です。

📍お問合せ 健康支援課保健係

(すこやか健康センター内)

☎ 62-6020

